

単元名 おおい ほう すくない ほう

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 求大・求小の意味について理解し、問題を解くことができる。
(2) 数図ブロックや絵、式などを用いて、求大・求小の問題を考えることができる。
(3) 日常の生活場面での求大・求小の問題に興味・関心をもち、進んで解こうとする。

標準的な展開例

01040307_001

【準備等】数図ブロック

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 多い方の数量を求める問題を考える。[p. 156]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書の問題場面を図に表す。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★おおいほうのかずをもとめるもんだいのときかたをかえよう。 ○多い方の数量を求める問題に取り組む。 ○「練習問題」に取り組む。 <p>2 少ない方の数量を求める問題を考える。[p. 157]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★すくないほうのかずをもとめるもんだいのときかたをかえよう。 ○問題場面を図に表す。 ○少ない方の数量を求める問題に取り組む。 ○「練習問題」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題場面に絵と図を対応させ、具体的に題意をつかませる。 ・数図ブロックを使って、具体的な操作をさせる。 【評】解き方を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・2つの数量のうち、多いものと少ないものはそれぞれ何かを考えさせてから立式させる。 ・数図ブロックを操作させたり、図に表させたりして取り組ませる。 【評】解き方を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

本単元は、問題文を読んでその題意をつかみ、式を立てて答えを求める学習である。単元名にもなっているように、まず、問題が多い方を求めているのか、それとも少ない方を求めているのかを明確にすることが必要である。そのため、数図ブロックや図を使い、問題の場面が実感できるような工夫をしながら単元を構想することが大切である。